

男子第二部

昨年第1部から第2部出場となった九州電力、東レ滋賀に昨年第1部と第2部がクロスして同チームで第1部と第2部が入れ替わった日本通運の3強に昨年棄権欠場したADRIAを加えた4チームを中心に優勝争いを繰り広げた。

準決勝戦第1試合

ADRIA	4	-	1	東レ滋賀
(先鋒)鈴木 寛士	4段		合せ技	河井 修二 3段
(先鋒)中野 竜	3段	⊖	優勢勝	黒澤 平 3段
(中堅)坂本 周作	3段		優勢勝 ⊖	角 明典 2段
(副将)大平 紘継	3段		大外刈	岡田 建彦 4段
(大将)大川 康隆	3段		体落	木藤 翼 2段

準決勝戦第2試合

日本通運	3	-	1	まるや接骨院
(先鋒)松尾 茂彰	3段		引分	笠原 丈幸 4段
(次鋒)三山 悟司	3段		背負投	明先 俊太郎 3段
(中堅)河野 勇人	3段		引分	高田 薫識 3段
(副将)影野 裕和	3段		内股	千葉 満仁 3段
(大将)大隈 将史	3段		横四方固	延島 竜秀 3段

決勝戦

昨年準優勝のメンバーの内4人が出場する日本通運は、緒戦から接戦を続けるが、次鋒の三山、副将の影野が全勝し、チームを2年連続して決勝戦に導く。一方のADRIAは、元了徳寺学園のメンバーを中心にチーム構成し、他を圧倒して決勝戦初進出。

日本通運 0 - 2 ADRIA

(先鋒)	松尾 茂彰	3段	袖釣込腰	鈴木 寛士	4段
(次鋒)	三山 悟司	3段	引分	中野 竜	3段
(中堅)	河野 勇人	3段	引分	坂本 周作	3段
(副将)	影野 裕和	3段	引分	大平 紘継	3段
(大将)	大隈 将史	3段	体落	大川 康隆	3段

先鋒戦。両者、右組みに組み合う中、1分6秒に20kg近く重い鈴木がパワーで軽量の松尾を左袖釣込腰に担ぎ、背中から前方に落として一本を奪う。

次鋒戦。共にここまで全勝の両者、得意の低い背負投で3試合オール一本勝の三山は、体格で上回る左の中野を相手に右組みから果敢に攻撃を重ねるが、中野にうまくかわされる。中野は背中を持った左の変形から、時折大外刈、払腰を仕掛けるが、三山も難なくこれを受け流す。結局、再三再四の三山の背負投も不発に終わり引分となる。

中堅戦。ケンカ組み手の両者は、激しい動きで組み手争いを重ねるも、見るべき技の攻防も殆ど無く、2分24秒に両者指導1を受けて、引分。

副将戦。体重、身長共に勝る影野が右組みで上から持って、左の坂本を振り回すが、坂本も一步も譲らず両者接戦を続ける。残り1分で受けに回った坂本に指導1が与えられも、その後坂本が担ぎ技を繰り出して、それ以上のポイントを影野に許さず、引き分ける。

大将戦。左組みでいずれもどっしりと同じ体型同士の対戦。1分40秒には、共に組み合う中、大川がスッと大内刈に入って押し込めば、大熊は後ろにへたり込むように倒れて、技ありとなる。その後、大熊は左変形になって払腰で攻めるが、大川は軽く受け流す。そうして迎えた2分28秒、大川は組み合った姿勢から、大熊を押し込むと同時に、前方に素早く飛び込みながら180度体を翻らせて、豪快な体落で大熊を畳に這わせる。